

今月の図書館 2019. 1

# 宮前だより

今月の特集

一般

「文豪探偵—日本の文豪・世界の文豪」

児童

「世界の国からこんにちは！」

YA (ヤングアダルト)

「YAの新着本!!」

宮前だより 2019年1月号  
発行 杉並区立宮前図書館

〒168-0081 杉並区宮前 5-5-27 03-3333-5166

ツイッターアカウント：@MiyamaeLibrary



# 1月のイベント

## あかちゃんタイム

1月12日(土)・19日(土)  
10:00~12:00

保護者の方が乳幼児と一緒に気兼ねなく図書館を利用できるよう、「あかちゃんタイム」という時間を設けています。「あかちゃんタイム」中は、あかちゃん向けのイベントを行ったり、図書館スタッフとボランティアでサポートしています。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

## 「あかちゃんおはなしかい」

1月12日(土) 10:30~11:00 1階おはなしのへや

あかちゃん向けの絵本や紙芝居の読み聞かせをしたり、あかちゃんと一緒に遊べるわらべうたや手遊びをご紹介します。

対象：小さいお子さんとその保護者 ※当日会場へお越しください。



## 「親子でリトミック！」

1月19日(土) 10:30~11:00 3階講座室

定員：15組30名 対象：6カ月~24カ月

※定員に達しましたので、締め切りました。

## 「ふくびき！みゃーまえくん」

配布：12月26日(水)~1月12日(土) 福引実施：1月13・14日

3冊貸出につき、1枚福引券を配布します。3枚集めると1人1回まで福引ができます。景品は、みゃーまえくん特製利用カード入れ！



宮前図書館の担当収集分野である、明治時代以前の日本文学に関する本をご紹介します。

宮前図書館分担収集

明治以前の  
日本文学

## 特別展示

### 『西郷最終章』

1月5日(土)~  
2月6日(水)



『大久保利通』

佐々木克/監修 BY才  
講談社学術文庫

袂を分かつ？西郷と大久保。大久保利通の実像を伝える証言集。政治家としての姿、西郷への思い、家庭での素顔…。多様で豊かな人間像に迫る。~そして土族反乱へ。

## 千羽鶴御礼

夏休み期間中に募集しておりました「千羽鶴」ですが、皆様のご協力で沢山の鶴が集まりました。小さいお子さまからご年配の方まで、ご参加下さりありがとうございました。

集まりました鶴は当館が責任を持ちまして、広島へ送付致しました。掲載の写真は広島市の職員の方が送って下さったものです。千羽鶴を通して、

戦争の事を考え、世界の平和を願う一助となればと思っております。

皆様のご協力ありがとうございました。



※各イベントの詳細は、杉並区立図書館ホームページ、館内配布中のチラシ、掲示ポスターをご覧ください。また、お気軽にカウンターでお尋ねください。



# 1月の特集コーナー

展示期間：1月5日(土)～2月6日(水)

## 「文豪探偵—日本の文豪・世界の文豪」

大きな影響力をもった近代の小説家—文豪。その作品世界から素顔まで、あらゆる角度から「文豪」に迫ります。

### 『文豪文士が愛した映画たち』

根本隆一郎 / 編 筑摩書房 BGネ

川端康成や三島由紀夫など昭和を代表する文豪が、雑誌などに寄稿した映画に関する文章が集まった魅力的なシネマガイド。「読むと映画が見たくなる」「読みものとして面白い」という思いにかられる一冊。



### 『文豪さんへ。近代文学トリビュートアンソロジー』

北村薫ほか/著

メディアファクトリー BGタ

時代を超えて読まれ続けている近代文学の魅力とは何か？ 当代の人気作家6名が、それぞれ好きな近代文学作品をモチーフに短編を書き下ろし、自らが選んだ作品のおもしろさについて語る。

### 『ごん狐はなぜ撃ち殺されたのか』

新美南吉の小さな世界』

畑中章宏/著 晶文社 910.28二

この本によって、新美南吉はただの“童話作家”の一人ではなく、民俗学的視点を持って、日本の社会を見据えていた人であるということが見えてくる。多くの日本人が小学生の頃に読んだ物語の中に、日本人の叡智が息づいていることに気づかされる一冊である。

# ☆ YAコーナー ☆

## 1月の特集

2階YAコーナーに、中学・高校・大学生向けの  
新着本の棚があります。ぜひ立ち寄ってみてください。

🍀 今月のオススメ!!

### 『太陽ときみの声 明日の、もっと未来へ』

川端 裕人/作 ★カ259

朝日学生新聞社

カ259



『太陽ときみの声』の第二弾。  
視力が落ちて1年。高校卒業を半年後に控え、一輝は進路について悩んでいた。ブラインドサッカーは楽しいけれど、将来の仕事には直結しない。もやもやしたまま、受験前最後の試合に臨むが…。

🌟 ラダーシリーズ レベル2

### 『The Night of the Milky Way Train 銀河鉄道の夜』

宮沢 賢治/著 IBCパブリッシング ★837ミ

少年ジョバンニが、親友のカンパネルラと、銀河鉄道に乗ってふしぎな旅に出る…。

やさしい英語で書かれているラダーシリーズ。巻末にワードリストがあるので、辞書なしで読むことができます。

5段階のレベル別になっているので、英語のステップアップにも使えますよ!

「YA掲示板」にオススメの本を投稿してみませんか？

皆さんからの記事の投稿を待っています！ オススメの本以外にも自作イラスト、宮前周辺のオススメスポットや行事、読んでみたい本などを教えて下さい。2階カウンター右手奥、YAコーナーに投稿ポストがございます。

# みんなの広場



暮易しみんな帰つてしまひけり  
枯尾花最後の歌をほがらかに  
眠る子の鈴を握りてクリスマス

千楓

友達と過ごした時間を重ね  
想い重ねて願ひ叶わず

干支

葛根湯はわが家の冬の常備薬  
あると安心飲んで安心

K・I

引越して江戸っ子の粋見栄を切る  
ある日突然言つてしまった愛ことは  
意気揚々活字になつて見て消沈

小戻心儿



図書館の聖樹に寄ればちかちかと  
東より西へ日の道山眠る

サチコ

みゃーまえくん ねこなの？本なの？  
まねきねこ！！

みみくみろ

うれしいね それいもうとの たんじょうび

ひらかわあおい

くりすます みんなへんしん かわいいね

ねこいぬわんこ

みゃーまえくん やっぱりかかれて どうしたの

ピロソロミ



みなさまの投稿をおまちしております。  
投稿ポストは、館内入って左手テーブルの上、2階カウンター上にございます。  
投稿された原文のまま掲載させていただきます。

## 2018年宮前図書館スタッフが 一番好きだった本

2018年、みなさんどんな本を読みましたか？ 宮前図書館では、スタッフたちが「2018年に読んだ私のベスト1」を選んでみました。どれも杉並区立図書館に所蔵がある本です。ピン！と来るものがあつたら、ぜひ手に取ってみてください！

「**細雪 上下**」 谷崎潤一郎 BGタ 「**集中力はいらぬ**」 森博嗣 141.5モ  
数十年ぶりに読んでみました。昔よりいろいろおもしろく読めました。

「**エドウィン・マルハウス**」 スティーヴン・ミルハウザー BRミ

「**瓦斯灯**」 連城三紀彦 BGレ 「**ぎゅっ**」 ジェス・オールバラ ER  
2018年は災害の多い年でした。そんな年こそ「ぎゅっ！」  
大人も子どもも、みんなで「ぎゅっ！」。

「**滄霊の如き祀るもの**」 三津田信三 ミ185  
「**13歳から知っておきたいLGBT+**」 アシュリー・マーテル 367.9マ

「**宝石商リチャード氏の謎鑑定 [1]**」 辻村七子 BGツ

「**花だより**」 高田郁 BGタ 「**鳥に単は似合わない**」 阿部智里 ア492  
完結したシリーズのその後を書いた特別篇。 「**乱れからくり**」 泡坂妻夫 BGア  
おなじみの「みをつくし」の人達が出てきて、「**生きている理由**」 松岡圭祐 BGマ  
懐かしさでいっぱいになりました。

「**ラクしてキレイが続く！お掃除のツボ**」 成美堂出版編集部 597セ

「**みかづき**」 森絵都 モ067 「**アマソンの料理人**」 木田哲雄 596オ  
この人の体験を見よ！ スペインの三ツ星レストラン「エル・フジ」  
から南米のアマゾンへ…。食の冒険、爆進中！ 元気が出る本です。

「**カラスの教科書**」 松原始 BYマ

「**本好きの下剋上 第1部 [1]**」 「**いちまいの絵**」 原田マハ 720ハ  
司書になるためには手段を選んではいられません」 香月美夜 カ537



# 宮前図書館 カレンダー

## 1月 January

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		休	休	休	休	
6	7	8	9	10	11	12
☆			☺			あかちゃんタイム あかちゃん おはなしかい
13	14	15	16	17	18	19
☆	☆		☺	休		あかちゃんタイム リトミック
20	21	22	23	24	25	26
☆			☺			
27	28	29	30	31		
☆			☺			

「☆」の日は、5時に閉館いたします。「☺」の日は、おはなしの日です。  
おはなし会は毎週水曜日、3時から1Fおはなしの部屋で行います。

## 2019年 新年のご挨拶

いつの頃からか一年過ぎるのが本当にはやく感じるようになりました。

振り返ってみて、今年も何だか変わり映えがしない一年だったなあと思うこともありますよね。

江戸時代では「七味・五悦・三会」という風習があったそうです。一年の終わりに、今年味わった美味しいものを七つ、今年感じた悦ばしいことを五つ、今年あった素敵な出会いを三つ、年の瀬に思い出しながら、一年を振り返るのです。

大晦日に今年一年を振り返ってみて、その中に図書館での出来事や素敵な本との出会いがあれば、こんなに嬉しいことはありません。そこへ行けば新しい何かを見つけられる、宮前図書館はそうした図書館でありたいと考え続けています。

みなさま、今年もどうぞよろしく願いいたします。(宮前図書館館長 宇佐美 圭)